

## 本研究科の特色

### (1) 学習者の学習デザインに合わせた履修方法

修学上の特例として短期履修学生制度、長期履修学生制度を設けている。短期履修学生制度では、優れた教育研究の実績のある現職教員等を対象に、1年間の履修によって大学院の課程を修了できる。長期履修学生制度では、修業年限2年を超えて上限4年まで計画的な履修が可能である（授業料は正規の期間の2年分である）。

### (2) 小学校教員免許取得コースの開設

3年間の長期履修学生制度を活用して、大学院での教育課程を修めながら、小学校教諭免許状を取得できる。

### (3) 学校現場や地域との密接な連携

附属学校園をはじめとする学校現場や教育委員会と密接に連携し、学校現場での実習を取り入れた教育課程を編成することにより、実践的な教育研究を展開している。

### (4) 特別支援教育士資格申請に必要なポイントの取得

高度教職実践専攻は、（一財）特別支援教育士資格認定協会から養成セミナーポイント振替制度の認定を受けており、本専攻の学生は資格申請時に必要な36ポイントのうち、最大で25ポイントを指定する科目を履修することで振り替えることができる。

（注）ポイント振り替えを資格認定申請の際に適用するためには、在学中に日本LD学会に正会員として入会し、資格認定協会の養成セミナーに登録しておくことが必要である。

### (5) 「科目等履修生」登録制度

現職教員を対象とした「科目等履修生」登録制度により大学院入学前に履修した科目は、入学後に免除される。